

開催場所：神奈川県建築士会 5階会議室

開催日時：平成26年 7月22日 (火) 18:00～20:00

出席者：雨森・東・長井・遠藤・丹治・村松・江藤・中村・滝口 (初)・高戸 (初)、事務局：佐川

欠席者：内田 幸夫、山室 和彦 [敬称略] 鈴木 (湘南支部同席)

- 常任理事挨拶：雨森理事より、8月4日の理事会へ防災委員会として報告、諸処対応してゆく。6月28日のHUGの企画を士業連絡協議会へMLでお誘いし、伊藤弁護士家族に参加頂いた。さらに、コメントも頂く。
- 委員長挨拶：6月28日の「 ～HUGから学ぶ」へ、委員6名の参加頂き、大変お疲れ様でした。感想や反省など詳しい事は、報告書をご覧ください。
- 委員、近況報告：滝口さん (中支部)、高戸さん (横須賀支部) が本日より防災委員として参加。滝口さんは秦野市で構造設計事務所を経営。東委員長の関りで委員会メンバーに加わりました。高戸さんは横須賀市で、工務店の経営。
- 報告事項
 - 前回議事録 (添付資料)：5月21日委員会議事録を確認・・・承認。
 - 6月28日横須賀で行われた、女性委員会とのコラボセミナー「防災・減災について考えよう～HUGから学ぶ」を終えて。＝反省事項と今後の伝達事項＝・・・《別紙添付数枚の通り》
 1. 会場設営、受付を含め準備にもう少し時間的余裕が欲しかった。30分でなくせめて45分は。
 2. それぞれの役目が、他の人の分担とどのように関わってゆくのが把握できにくかった。
 3. アンケートの回収率が30%、せめて6～70%は欲しい。(内容コピー添付)
 4. 2つの委員会のジョイント開催の難しさもあった。To Do List があつたらいい。(女性委員会作成のTo Do List があつたが、防災委員まで届かず)
 - 湘南支部の鈴木さんより、キャラバン隊の経験談をお聞きする。平成16年10月の新潟県中越地震の時と、平成19年7月の新潟県中越沖地震の時にも参加した。初回は、湘南支部から4名で夜中に現地へ向い、翌朝現地担当者より説明を受け、4件ほどの相談案件の相談を行い、報告書を作成し提出して、終了。1件の相談におおむね1.5時間ほどを要した。現地不案内で、地図片手に移動には、時間を要した。初冬の新潟は、寒かったので、防寒対策は必要。応急危険度判定済の黄色か赤の紙が張ってある物件が対象だが、建物使用者や所有者の気持ちを汲んでアドバイスする事が必要。「罹災証明」などとの関係を尋ねられるが、市町村窓口へ訊ねるようにとの返答しか出来ない。2回目は、地域公民館で被災住宅希望者からの相談で、近くの自宅へ連れられて出向く事もあった。
- 議 題
 - 9月発行の情報広報委員会編集のサロン特集「防災について」の掲載記事について。添付コピーのように2ページにわたり防災委員会の存在とその活動について、会員・読者へPRする。1ページ目は連絡網及び組織図を兼ねたもの。2ページ目は「被災地住宅相談員」について。突然の大災害に備える心構えと、対応スキルアップなど・・・防災意識の高揚をはかるため。雨森理事がたたき台として作ったものを、委員会でもみ修正して、東委員長より、情報広報委会へ、原稿を、後日メールで発信する。

- キャラバン隊の研修会について
村松さんの発案（提案）
各支部単位で研修会を企画し、実施したらどうか。まずは自分達の支部メンバー間のコミュニケーションを深め、スキルアップを図る事が必要。今度の支部長会議で、研修会開催を要請してはどうか。

- 防災委員の募集は、HPなどそのまま継続する。

・次回委員会：平成26年9月18日（木）・場所：建築士会会議室 18時より